

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		05 02 07	中期総合計画主要施策番号		3 - 02、5-06		担当課	部・課	衛生部医療政策課医師確保対策室	
事業名		自治医科大学経常運営費負担事業				内線		2684		
						E-mail		doctor@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	自治医科大学の運営費を負担し、将来県内で地域医療に従事する臨床医を養成する。								
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 ・医師確保を県政の最重要課題として取り組んでいるが、へき地をはじめ医師不足の解消には至っていない。 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 ・研修医及び医師の都会志向、新医師臨床研修制度の導入以降の大学医局機能の低下など複数の要因が絡み合っている。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・一定期間の県内医療機関での勤務等により必要な医療を確保するとともに、将来地域医療を支える医師を確保する。								
		地域医療に従事する医師の養成を行っている自治医科大学(全国の都道府県共同で設立)の運営費を負担する。 なお、自治医科大学は、学生に対して修学のため大学に納付する経費を全て貸与し、卒業後所定期間の公立病院等に勤務した場合にその返還を免除する。								
		実施期間	S47 ~		根拠法令等	学校法人自治医科大学設立趣意書				
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
長野県出身の自治医科大学の学生が、将来県内で地域医療に従事するため医師の確保を図る。		新たな入学者を確保し、将来県内に勤務する医師を確保する。			・平成20年度は、長野県出身者2名が自治医科大学へ入学した。また、卒業者2名が新たに県内で臨床研修を開始した。 ・義務年限の医師16名が県内の医療機関で従事した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下			
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	127,000	127,000	127,000	国庫・県単	県単		
	決 算 額 (B)		千円	127,000	127,000		実施方法	負担金		
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	127,000	127,000	127,000	歳出節別	負担金: 127,000		
	概 算	従事する職員数	人	0.70	0.70	0.70	内訳等			
	人件費	概算人件費 (C)	千円	4,998	5,004	5,004	(単位: 千円)			
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	131,998	132,004	132,004					
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	本県出身の自治医科大学在学学生		人	12	12	13				
	県内で従事している義務年限医師数		人	17	16	18				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	依然として厳しい医師不足の状況下で、へき地等に勤務する医師の養成・確保のための自治医科大学の運営費負担は、重要性を増している。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		引き続き自治医科大学の運営費を負担することにより、県内のへき地等に勤務する医師の養成・確保を図っていく必要がある。							